



8月号②
2025.8.25(月)

文責 本宮小校長 佐久間仁

て、「話の内容を捉える」ことができ
るかどうかを見る」問題などでした。

今後の対応策として、聞くこと
の指導においては、話し手の考
えと自分の考えを比較して共通点や
相違点を整理したり、共通した内
容や納得した事例を取り上げたり
して、自分の考えをまとめること
ができるようにしていきます。

【算数】

本校の平均は県平均、全国平均
ともに下回りました。

問題別では、「数と計算」「テー
タ活用」で県平均を上回りました。
「図形」「測定」「変化と関係」で
は県平均、全国平均を下回りました。

特につまづきが見られたのは、
「台形の意味や性質について理解
しているかどうかを見る」問題な
どでした。

今後の対応策として、図形の操
作活動を積極的に取り入れ、図形
の構成要素間の関係に着目しなが
ら考えさせることで、図形が回転
した場合でも垂直や平行などの図
形の性質は変わらず、元の図形と
同じであると実感できるようにな
ります。

本校の平均は県平均、全国平均
ともに下回りました。

問題別では、「言葉の特徴や使い
方」で県平均、全国平均を上回り
ました。「情報の扱い方」「我が國
の言語文化」「話す・聞く」「書く」
「読む」では県平均、全国平均を
下回りました。

特につまづきが見られたのは、
「自分が聞こうとする意図に応じ
て、話の内容を捉える」ことができ
るかどうかを見る」問題などでした。

今後の対応策として、聞くこと
の指導においては、話し手の考
えと自分の考えを比較して共通点や
相違点を整理したり、共通した内
容や納得した事例を取り上げたり
して、自分の考えをまとめること
ができるようにしていきます。

本校の平均は県平均、全国平均
ともに下回りました。

問題別では、「地球」が県平均と
同程度でした。「エネルギー」「粒
子」「生命」では県平均、全国平均
を下回りました。

問題別では、「地球」が県平均と
同程度でした。「エネルギー」「粒
子」「生命」では県平均、全国平均
を下回りました。

特につまづきが見られたのは、
「発芽するためには、必要な条件に
ついて、実験の条件を制御した解
決の方法を発想し、表現する事が
できるかどうかを見る」問題など
でした。

今後の対応策として、観察、実
験の方法を計画した段階で、どの
ような結果になるか見通しをもつ
ことができるようにしていきます。

六月十六日～二十日にかけて「朝
食について見直そう週間運動」を行
いました。最終日の結果の概要
は以下のとおりです。

※（）内は昨年度との比較

○朝食の野菜摂取率
九十九%（十一・四P）

○朝食の野菜摂取率
五十一%（十〇・五P）

○朝食の汁物摂取率
三十六%（十三・五P）

○昼食以外に誰かと食事した回数
七十八%（十五・一P）

○昼食以外に誰かと食事した回数
一回（朝または夕）

○昼食以外に誰かと食事した回数
二〇%（十二・一P）

○昼食以外に誰かと食事した回数
一回（朝と夕）

○昼食以外に誰かと食事した回数
二%（二・四P）

○昼食以外に誰かと食事した回数
二%（二・四P）

昨年度と比較して、朝食摂取率
が一・四ポイント、野菜摂取率が〇・五
ポイント増加しました。また朝食以外に

誰かと食事した回数では、「二回」
「一回」とともに増加し、「〇回」が

減少するなど、子どもだけで食事
をする状況に改善が見られました。

一方で、汁物の摂取率が低いとい
う課題が残りました。忙しい朝で
すが、引き続き栄養バランスのと
りを検討・改善していきます。

朝 食を見直そう

